

地域密着、身近な話題を体験取材!

まちかど

特派員だより

町会を見守る拍子木の音

夕ご飯も終わり、「あーあ、今日も無事に終わったなあ」とほっと一息ついて、一家だんらんの夜を過ごしている19時30分頃、毎日「カーン、カーン、カーン」という拍子木の音が聞こえてきます。

富士見一丁目町会の「安全安心を守る会」の16人の有志の皆さんが、交替で夜間の見守り活動をしている合図の音です。「皆さん安心してお休みなさい」という子守唄にも聞こえます。頼りにもなり、元気をくれる音色です。町内の全地域を赤い非常灯を持ち、拍子木を打ちながら、4・5人の会員の皆さんで見回っています。

この見守り活動は、想像以上の防犯効果があり、地域の



夜間の見守り活動を行う会員の皆さん

人だけではなく、近隣の町内会の人、そして夜道の家路を急ぐ人たちにとっても、大きな安心になっていることが、同行をして分かりました。家路を急ぐ人から「ご苦労さま。ありがとうございます」というあいさつがあつたり、また、自転車で帰っている人が非常灯を見て、慌ててライトを点ける場面もあつたりします。中には、窓から手を振って「ご苦労さま」と言ってくれるおじいちゃんもいます。

活動している皆さんは、門の扉が開いているとそっと閉めに行ったり、駐車場の車のライトが点けばなしになつていけば声を掛けて知らせたり、暗い夜道にある石を転ばないように片付けたりと、小さなことにも気を配りながら見回りをしています。「地域の安全を守る!」という安全・安心への強い使命感が、活動の様子からいろいろ伝わってきます。

他にも、日曜日以外は家に戻らない留守宅の門が開いていることを不審に思つて、裏口に回つたところ、窓ガラスが割られて空き巣に侵入されていたのを発見したこともありました。ちょっとした異変を見逃さないところに、ボランティアとはいえずプロ意識を感じます。

今、富士見一丁目地区でも少しずつ空き家が増え、高齢化も進む中で、夜間の見守り活動はまさに地区の安全・安心のための大切な活動です。

この活動は10年以上続いています。活動する皆さんにとって夜のゴールデンタイムのさなかに腰を上げ、見回りに出る意志を持つことは、大変なことだろうと思います。同行させていただき、活動の大切さと会員の皆さんの地元を守る心意気を強く感じました。

上尾地区
おおなり
大成 達夫さん



市民の情報交流スポット



おいでください

- 竹とんぼ作り指導者講習会 2月17日(日)14:00~16:00、市民活動支援センター 当日 関根☎090-6023-8219 **ひと言!** 竹とんぼ作りを習って子供達に教えられるようになろう。
- フレイルチェック学習会 2月27日(水)13:30~16:00、コミュニティセンター 当日 佐伯☎070-2154-7344 **ひと言!** フレイル(高齢期の心身の衰え)について学びましょう。

いきいきサークル

- アートベル土曜会(絵画) 毎月第2・4(土)13:30~16:00、富士見小学校・平方東小学校他 費月額5,000円 小川☎726-2086 **ひと言!** 思い思い描いています。デッサンもします。
- にこにこ英会話会 毎月3回(水)13:00~14:30、大石公民館 費月額3,000円(入会金1,000円) 浅利☎726-1888(20:00まで) **ひと言!** ネイティブ(米国人講師)との英会話を楽しみませんか。
- ハングル(初級) 毎週(木)9:00~10:00、大谷公民館 費月額3,500円(入会金1,000円) 松本☎080-5022-0562(19:00まで) **ひと言!** 韓国語をしっかりと学べます。調理実習あり!
- ララピアチェレ(女声コーラス) 毎月3回(月)13:00~15:00、東大宮コミュニティセンター他 女性 費月額3,000円 榎橋☎776-6978(20:00まで) **ひと言!**

愛唱歌を歌ってます。初心者OK。上尾駅からバスあり。

- 上尾警察署ひまわり少年剣道教室 毎週(休)①基本組18:00~19:15②防具組・中学生18:00~20:00、上尾警察署道場 小学生1年生~中学3年生 費スポーツ保険加入料800円 上尾警察署少年係☎773-0110(9:00~17:00) **ひと言!** 基本から丁寧に教えています。ぜひ、見学体験を。
- NK B英語サークル 毎月2回(土)14:00~16:00、富士見小学校・コミュニティセンター他 費月額2,100円 江☎772-7172 **ひと言!** 中学英語で易しい会話を楽しみましょう。見学大歓迎。
- 男の台所 毎月第1(土)9:00~12:00、上平公民館 男性 費月額2,000円(入会金1,000円) 佐藤☎723-6601(20:00まで) **ひと言!** 家で料理をしたことのない人でもOKです。



定…定員 対…対象 費…費用 持…持ち物 当日…当日、直接会場へ 申…申し込み



和太鼓の腕前を披露する花輪さん

軽やかな音色で祭りに花を添える祭りばやし。小敷谷地区では、市登録無形民俗文化財の「小敷谷の祭りばやし」として地域に根ざし、暮らしの中で継承されてきました。その伝統を守り、後世に受け継ぐ保持団体「小敷谷囃子連」で活動するのは、大人の部・最年少の大学生、花輪奈央さんです。

小敷谷囃子連は、高校生以上の大人の部と、中学生以下のジュニアの部に分かれて活動をしています。小太鼓や大太鼓、笛、鉦を用い、春と秋の畔吉地区の諏訪神社の例祭や小敷谷地区の夏祭りでの上演をはじめ、老人ホームや小学校などでも活動をしています。

花輪さんは、友人や家族が活動していたこともあり、小学5年生から会に参加し、ジュニアの部で活動を始めます。「周りには友達も多く、遊びの延長で楽しかった」と花輪さんは話しますが、中学卒業を境に辞めてしまう人が多く、花輪さんも中学3年生の時に一度辞めてし

スポットライト

～人・仲間～



はなわ
花輪

な お
奈央さん
(小敷谷在住)

SPOT LIGHT
The life of a great person

市無形民俗文化財を担う若い才能

はやし 一度は辞めた小敷谷囃子連に復帰

まいます。しかし、約1年後、高校1年生の時に復帰します。

「なんとなく太鼓を叩きなくなっただけで、気持ちで参加して、気が付いたらそのまま続けています」と屈託ない笑顔で復帰の理由を話します。花輪さんを惹きつける祭りばやしの魅力は「何も考えずに無心になれること」と答え、「いざれば明るくにぎやかに叩けるようになりたい」と将来の目標を語ります。

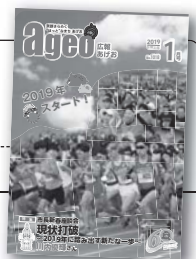
現在19歳の花輪さんに、市無形民俗文化財の保持団体に所属していることについて尋ねると、「10・20代がいらないので、私が辞めたら途切れてしまうのではないかと考えると辞められない」と冗談めかして言い、「若い人にももっと参加してほしい。小敷谷以外や市外からも大歓迎」と話します。最近では女性も増え、全体の約半数に上ります。また、硬いイメージを持たれる文化財の保持団体ですが、会全体はとてアットホームだそうです。「普段関わることのない私より3、4回り年上の人たちと並んで太鼓を叩いています」と笑いながら話してくれました。

敷居が高いと思われるがちな民俗芸能。実際に門戸を叩くと違う景色が広がっているかもしれません。興味がある人は肩の力を抜いて、気軽に足を運んでみてはいかがでしょうか。



「新春お正月特別企画まちがいさがし」(3ページ参照)で寄せられた『広報あげお』への感想・意見を紹介します。今月は1月号です。

⇒広報広聴課 ☎775-4918・☎776-8873 ※内容は一部要約しています。



特集 市長新春座談会 現状打破 ～2019年に踏み出す新たな一歩～ 川内優輝さん

- 川内優輝さんのマラソンへの取り組みについて、よく理解できました。私も現状打破を目標に頑張りたいと思いました。(70代男性)
- 市長新春座談会をじっくり読みました。川内優輝さんの話から、やはり努力せずして成功なしと強く感じました。(40代男性)

川内優輝さんからマラソンへの熱い思いを伺うことができました。夢や目標を持って努力することは素晴らしいですね。



表紙 2019年スタート! (上尾シティマラソン)

- スタートを切るランナーたちの写真が、鮮やかできれいだと思います。(10代女性)
- 元気に走り出す姿が、さわやかでいいですね。(70代男性)

新春号では、昨年行われた上尾シティマラソンでスタートを切るランナーたちが表紙を飾りました。『広報あげお』ではこれからも、市民の皆さんの元気な姿を取り上げていきます!



『広報あげお』は、読者の皆さんの感想を参考にし、より良い誌面作りを目指しています。これからも皆さんの感想をお寄せください。